

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	福島県双葉郡中高一貫校設置事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成30年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	なし		関係する計画、通知等	福島原子力災害避難区域教育復興設備整備費補助金交付要綱 福島原子力災害避難区域教育復興施設整備費補助金交付要綱				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	原子力災害避難区域における教育の復興と持続可能な地域作りに貢献し厳しい未来を切り拓く「強さ」を持った人材を育成するとともに避難している子どもたちの受け皿を整備する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	復興庁・文部科学省が参画して、「福島県双葉郡教育復興に関する協議会」でとりまとめられた「双葉郡教育復興ビジョン」に位置づけられた双葉郡における中高一貫校整備のための事業。27年度から仮校舎で高等学校を開校。27年度以後新校舎の建設を開始し、31年度に完成予定。この準備のため、福島県に対し、双葉郡における新たな県立中高一貫校の設置に要する施設及び設備・備品の整備費を支援する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	331		
		補正予算	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-			
	計		-	-	-	331		
	執行額		-	-	-			
執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (31年度)
	「双葉郡教育復興ビジョン」を踏まえ、県の目標どおり、中高一貫校を開校し、校舎等の施設及び設備を整備する。(27年度 仮校舎開設、31年度 新校舎開設) ※進捗率は、仮校舎開設で50%、新校舎開設で100%とする。		成果実績					
			目標値	進捗率(%)				100
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	「双葉郡教育復興ビジョン」に基づき、県立の中高一貫校の校舎等の施設及び設備の整備を支援する。(交付対象は学校数)		活動実績	校				1
			当初見込み	校				1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	交付対象は1校のみであるため単位当たりコストは設定できない。		単位当たりコスト					
			計算式	/				
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	福島原子力災害避難区域教育復興設備整備費補助金	298						
	福島原子力災害避難区域教育復興施設整備費補助金	33						
計	331							

事業所管部局による点検・改善														
	項目		評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「双葉郡教育復興ビジョン」に基づき、福島県が設置する中高一貫校の設置事業であり、被災地からのニーズは十分にあり、優先度の高い事業である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	当該事業は、施設及び設備・備品の整備に3分の2を負担する事業であり、負担関係は妥当であり、要求にあたっては、既存施設を活用するなどして真に必要な経費を計上している。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○											
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○											
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-											
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名											
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「双葉郡教育復興ビジョン」に基づき、福島県が設置する中高一貫校の設置事業であり、このため、被災地からのニーズは十分にあり、優先度の高い事業である。また、学校関係の既存の補助金を参考に、補助率を3分の2としており、負担関係は妥当である。さらに、要求にあたっては、既存施設を活用するなど事業の効率化を図った上で、真に必要な経費のみを計上している。												
	改善の方向性	事業の執行にあたっては、最小の費用で事業目的を達成できるように、引き続き適切かつ必要な費目のみを措置するとともに、補助対象事業者に対しても、経費を効率的に、かつ公正な方法で使用するよう指導していく。												
行政事業レビュー推進チームの所見														
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
備考														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-								

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁



〔文部科学省へ移替え〕

文部科学省



〔負担・補助〕

福島県

〔双葉郡における中高一貫校の設置〕

資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)